

## 北沢 正嗣先生（笑話サロン主宰、笑い療法士）略歴

- ・昭和16年 東京生まれ、長野育ち。現在 埼玉県所沢市在住
- ・平成13年 建築電気設備設計に従事し定年退職
- ・平成15年 ユーモア共和国 入国
- ・平成16年 3分間ユーモアスピーチの会「笑和サロン」結成
- ・平成17年 「笑い療法士」（癒しの環境研究会認定）取得
- ・ 〃 笑いの出前ボランティア「なんでも合笑団」結団
- ・ 〃 講師活動開始（芸名 あやし家こいつ）



◎倒産2回を含め職歴は多い。

話や人付き合い苦手も、設計で定年まで30年勤務。

◎趣味1つ無い定年後探しの中で「ユーモア共和国」に巡り合い入国。

3分間スピーチで喋りの面白さを知り、スピーチの怖さから解放。

地元、大宮に3分間ユーモアスピーチの会「笑和サロン」を立ち上げる。

◎翌年「笑い療法士1期生募集」に応募、笑い与健康の関係を学び、笑いの実用性を知る。

◎「笑和サロン」の快員に呼び掛け、有志で笑いの出前ボランティア「なんでも合笑団」を結成、施設等へ出前する。

\*講演は、笑って聞ける楽しい講座を心掛け、テーマは「笑い与健康」「仲間つくってささえ愛」「男はIQ 女は度胸」「定年よ大志を抱け」「笑いを探る」など多彩。→今回講演は、「笑い与健康」をテーマに、元気で長生きのコツとツボを教えます。ポケ防止にも役立ちます。乞う、ご期待！！

## 工藤 英美先生（八峰白神ジオパーク推進協議会 顧問）略歴

- ・昭和12年八森（現八峰町）生まれ
- ・能代高校卒業 秋田大学教育学部理科 - 地学教室卒業
- ・小・中学校教員を35年間務める。平成9年退職
- ・勤務のかたわら、秋田地学教育学会の一員として、地学教育の研究（特に第四紀）を行い現在に至る。
- ・北朝鮮の白頭山でも地質調査を行う。
- ・平成22年4月八峰白神ジオパーク推進協議会を設立。初代会長を務める。
- ・平成27年3月退任、現在に至る。



白頭山頂上



春の白頭山

\*今回講演「能代砂丘の変遷とその意義」について

◎小・中学校の理科学習で野外活動を取り入れたカリキュラムを組むと教育効果が上がることに気づき、教材化に取り組む。

◎しかし生徒の安全確保、授業時間数の確保が難しく苦慮していた所、旧沢目中学校の校地内に穴を掘ってみた。これが砂丘砂だったのである。この砂丘がなぜここにあるのかを追求していった。

◎平成26年、カナダのストーンハンマーで開催された第6回世界ジオパーク国際ユネスコ会議で前述の一部を紹介し好評を得る。

◎砂が語る意外な話をいたします？！